

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成28年3月9日

計画の名称	防災施設の充実と安心して利用できる安全で多機能な公園整備									
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		交付団体	伊賀市						
計画の目標	伊賀市防災計画に基づく地域防災拠点の整備と多様化するスポーツ・レクリエーション需要への対応を目的とし既存の公園を拡張整備する。また、既存の公園を、多種多様な公園利用者に対応でき、誰もが安全で安心して利用できるユニバーサルデザインの理念に基づき、改築及び整備を行うと同時に長寿命化計画策定によりライフサイクルコストの削減を図る。									
計画の成果目標（アウトカム指標）	<ul style="list-style-type: none"> 遊具の改築及び更新により施設の安全度の向上・・・遊具の定期点検によるA・B判定40%を90%に増加させる。 防災公園面積の整備率・・・整備率16%を100%に向上させる。 バリアフリー化達成率の向上・・・園路広場は4%を23%、駐車場は13%を43%、便所は11%を38%に向上させる。 公園施設長寿命化計画の策定・・・都市公園29公園のうち、施設を有する26公園について、公園施設長寿命化計画の策定公園を0公園から26公園にする。 									
アウトカム指標の定義及び算定式				アウトカム指標の現況値及び目標値		備考				
				当初現況値	中間目標値		最終目標値			
<ul style="list-style-type: none"> 遊具の改築及び更新により施設の安全度の向上 都市公園で所有する遊具のうち平成21年度の点検結果から、安全な遊具の割合を算出する。 安全な遊具の割合＝安全な遊具の基数（A・B判定遊具数）／全遊具数 防災公園面積の整備率 防災公園として位置づけられた運動公園の整備面積7.9haに対する整備率を算出する。 整備率（%）＝（しらさぎ運動公園整備面積／しらさぎ運動公園計画面積）×100 バリアフリー化達成率の向上 園路広場：移動等円滑化基準適合公園数 / 対象公園数 駐車場：移動等円滑化基準適合公園数 / 対象公園数 便所：移動等円滑化基準適合公園数 / 対象公園数 公園施設長寿命化計画の策定 公園施設長寿命化計画の策定公園を0公園から26公園にする。 	40%	80%	90%							
	16%	23%	100%							
	園路広場 4% 駐車場 13% 便所 11%	園路広場 19% 駐車場 43% 便所 25%	園路広場 23% 駐車場 43% 便所 38%							
	0公園	0公園	26公園							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,730 百万円	A	1,723 百万円	B	0 百万円	C	7 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.4%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
伊賀市建設部都市計画課にて実施	交付期間終了後 公表の方法 ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A 地方道路整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	公園種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
												H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	公園	一般	伊賀市	直接	伊賀市	運動公園	—	0.50	都市公園(しらさぎ運動公園)	園路・広場・多目的グラウンド等整備 7.9ha	伊賀市						1,508	
1-A-2	公園	一般	伊賀市	直接	伊賀市	各種	—	0.50	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(伊賀市)	公園施設の改築等 11公園	伊賀市						165	
1-A-3	公園	一般	伊賀市	直接	伊賀市	各種	—	0.50	公園施設長寿命化計画策定調査	公園施設長寿命化計画策定調査 26公園	伊賀市						20	
1-A-4	公園	一般	伊賀市	直接	伊賀市	運動・総合	—	0.50	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(伊賀市)	公園施設のバリアフリー化 2公園	伊賀市						30	
合計															1,723			
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
合計															0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考					
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
1-C-1	施設整備	一般	伊賀市	直接	伊賀市	—	0.50	施設誘導看板設置	しらさぎ運動公園誘導案内板設置 2基	伊賀市						2		
1-C-2	施設整備	一般	伊賀市	直接	伊賀市	—	0.50	園内案内看板設置	公園施設看板設置工 3公園	伊賀市						5		
合計															7			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考					
1-C-1	都市公園事業(しらさぎ運動公園)(1-A-1)と一体的に整備し、公園利用者の利便性及び災害時の円滑な通行体制を図る。																	
1-C-2	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(1-A-2)と一体的に園内施設の案内情報版を設置し、利用者の利便性向上を図る。																	

A'	0	百万円	B'	0	百万円	C'	0	百万円	(C+C') / ((A+A')+(B+B')+(C+C'))	0.4%	%
----	---	-----	----	---	-----	----	---	-----	---------------------------------	------	---

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成28年3月9日

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 計画当初に安全度がC判定（重要な箇所の部分修繕が必要、場合により使用可）の遊具を中心に更新を行い、期間内に70基の遊具を更新した。よって安全度が向上した。 期間内に一部の施設について集中的に整備を行うことにより部分供用を行い、広く市民の皆様にご利用いただけるようになった。 公園内通路の段差解消やトイレの利便性向上により、障害を持った方でもより使いやすい施設へと整備を進めることができた。 当市の管理する都市公園について、将来の維持管理コストの削減を計るための整備計画を策定し、かかる維持管理費用を削減することができる。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（安全な遊具の割合）	最終目標値	90%	目標値と実績値に差が出た要因	・目標値を上回る結果となった。
		最終実績値	93%		
	指標②（防災公園整備率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	・工事実施初期段階の調整池築造工事の際に、軟弱地盤が確認され、工法検討のための設計に期間を要し、その後の工事進捗に遅れが生じる結果となったことにより、整備面積の達成につながらなかった。
		最終実績値	34%		
	指標③（バリアフリー化達成率）	最終目標値	23% 43% 38%	目標値と実績値に差が出た要因	・目標値の同等もしくは上回る結果となった。
		最終実績値	23% 43% 50%		
	指標④（長寿命化計画策定率）	最終目標値	26公園	目標値と実績値に差が出た要因	・当初計画策定時に各公園の詳細な調査を実施したところ、長寿命化計画対象施設が何も無い公園が4公園把握されたため、実施公園数が少なくなったものです。よって、計画策定率は実質100%達成となります。
		最終実績値	22公園		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 平成27年6月末にしらさぎ運動公園（7.9ha）内の多目的グラウンドの部分供用（1.4ha）を開始し、多くの方に利用していただいております、7ヶ月間で約14,000人の利用実績となっている。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> しらさぎ運動公園については、引き続き整備に取り組み、平成28年度末で残りのエリアの整備を完了するよう取り組んでいきたい。 遊具の更新については、公園施設長寿命化計画に基づき、劣化の進み具合も加味しながら維持修繕を行い、施設の安全度及びバリアフリーの向上に取り組んでいきたい。 					